

加齢と運動の生理学

—健康なエイジングのために—

正誤表

ページ	行	誤	正
v	1行目	序文	序
8	3行目	異分化仮説	分化不全仮説
20	図1.5中	年齢	高齢者
22	下3行目	矢印がない線は	先が丸い線は
23	6行目	交感神経系の亢進と内皮機能の影響は、血管コンプライアンスに対する年齢による独立した影響を強める。	交感神経系の亢進と内皮機能の変化は、血管コンプライアンスに対する年齢独自の影響を強める。
	10行目	悪循環が続いていることである。	悪循環が続くことである。
35	下11行目	最も、	しかし、
44	下17行目	決して関節を“絡み合わせ”ない。	関節を完全伸展位でロックさせない(軽度屈曲位を保つ)。
45	下10行目	曲線が適切でない理由は何か。	曲線が使われない理由は何か。
58	16行目	難聴とは、音を判別あるいは識別する能力を低下させることである。	難聴によって、人は音を判別あるいは識別する能力を失ってしまう。
62	下7行目	嗅覚受容細胞からの繊毛は、	嗅覚受容細胞の繊毛は、
	下6行目	粘膜上で溶け、粘膜の繊毛の受容器に結合す	粘膜中で溶け、繊毛内の受容器に結合する。
	下5行目	繊毛	繊毛
	下5行目	を通過して、脳へ情報を伝える嗅神経を形成する嗅球に接続する神経線維へ伝えられる(図	を通過して伸びている神経線維を介して伝えられ、脳へ向かう嗅神経を組織する嗅球に接続する(図4.4)。
68	6行目	最善	最適
80	12行目	マクロニュートリント	マクロニュートリエント
91	5行目	エストロゲン療法(OHT)	卵巣ホルモン療法(OHT)
92	下4行目	調節器	調整装置
95	表6.3 右下2欄目	塩	食塩
98	19行目	心血管系の運動が…	心拍数を高め、血流を増す心血管系に対する運動が…
103	下2行目	“重りを持ち上げる”	“重錘負荷”
104	8行目	疾患を持っている。	状況を背負っている。
126	表7.3中	バランス 記憶 感覚の低下、うずき Berg Balance Scale FAB Scale Mini-Mental State Exam Health History …	バランス 記憶 感覚の低下、うずき Berg Balance Scale ^b FAB Scale ^c Mini-Mental State Exam ^d Health History …
126	表7.3文献	ⁱ Western Ontario McMaster Arthritis.	ⁱ Western Ontario and McMaster Universities Osteoarthritis Index.
129	図7.2の 3行目	非常に強い	非常に弱い
158	下11行目	安全対策を持つこと。	適切な安全対策を持つこと。
160	下15行目	加齢と共に高齢者の…	高齢者の…
	下4行目	法的な責任や設備とプログラムの安全性にもっと関心を持つべきか。この2つは等しく重要か。	法的な責任にもっと関心を持つべきか。あるいは、設備とプログラムの安全性に関心を持つべきか。それとも、この両者は等しく重要か。
164	19行目	…処方されて、エストロゲン補充療法はわずらわしい…	…処方されて、ホルモン補充療法はわずらわしい…
175	17行目	励まし	助け
195	左	Aricept(アリセプト) 54 BMI 126	Aricept 54 BMI(体格指数) 126
	右	Cognex(タクリン) 54 Exelon(リバステグミン) 54	Cognex 54 Exelon 54
196	左	maintenanc stage	maintenance stage
	右	OHT(エストロゲン療法) 91 サービング	OHT(卵巣ホルモン療法) 91 サービング
197	左	(WOAMC)	(WOMAC)
	右	アリセプト(Aricept) 54	アリセプト 54
198	左	エストロゲン療法(OHT) 91	エストロゲン療法 164
201	右	タクリン(Cognex) 54	タクリン 54
202	右	ドネペジル(Aricept) 54	ドネペジル 54
203	左新規挿入		複合糖質 70,80
	右	フレディック・バンティング卿 77 ホルモン	フレデリック・バンティング卿 76 削除
204	右新規挿入		卵巣ホルモン療法(OHT) 91
	右	リバステグミン(Exelon) 54	リバステグミン 54
奥付	田畑稔	2008年 国際医療福祉大学大学院医療福祉学 研究科修士課程修了 現在…講師 修士(保健医療学)	2014年 北里大学大学院医療系研究科博士課程修了 現在…准教授 博士(医学)
	後藤寛司	講師	准教授
	小島基永	東京都健康長寿医療センター研究所(東京都老人総合研究所)	東京医療学院大学保健医療学部リハビリテーション学科教授